

小さな町で大きな思い出

栃木県内各地域のトピックスなどを伝える「ふるさとNEWS」。本年度も「ほっとタウン」のタイトルで、25市町を巡ります。今回は野木町。「野木町煉瓦窯&ハート池」や「ひまわりフェスティバル」など、ホットな話題と街の魅力を紹介します。

(企画・制作 下野新聞社営業局)

野木町は栃木県の最南端に位置し、県内でいちばん小さな自治体ですが、JR野木駅を中心に、首都圏に通勤できるベッドタウンとして発展してきた町です。

町の西側には思川や広大な渡良瀬遊水地が広がるとともに、南北に水田と平地林が交互に織りなす風景は、この時季とても美しい景観となっています。

5月31日には恋人や大切な人と訪れて幸せを誓うロマンチックなスポットとして、野木町煉瓦窯と谷中湖が「野木町煉瓦窯&ハート池」の名称で恋人の聖地に選定されました＝写真①。

当地は、悠久の歴史を刻む野木神社や、明治期の重厚な野木町煉



瓦窯などから感じられる歴史ロマンに、とうとうと流れる渡良瀬川や思川、そして緑あふれるラムサール登録湿地の渡良瀬遊水地などの大自然を、爽やかにサイクリングで楽しむこともできる素晴らしい場所です。

ふるさとニュース

2017
2018



さらに、隣接するホフマン館では、煉瓦窯で焼く「手焼きピザ」体験や、ミニレンガの製造体験なども企画しておりますので、二人の素敵な思い出づくりにお薦めです。

・人口 2万5198人＝7月1日現在
(男 1万2526人、女 1万2672人)
・世帯数 9798世帯
・町役場所在地 野木町丸林571
☎0280-57-4111 (代)

野木町

・町の木 えんじゅ
・町の花 ひまわり
・町の鳥 ふくろう



また、今年も7月28日(金)、29日(土)、30日(日)には、野木町を代表するビッグイベント、第26回「ひまわりフェスティバル」が開催されます。

鮮やかに咲き誇る20万本のひまわりはまさに圧巻で＝写真②、会場内のひまわり大迷路やメインステージでのさまざまなパフォーマンス、ふれあい模擬店の野木町グルメなどを楽しめます。さらに29日(土)は打ち上げ花火も実施されるので、夏の思い出づくりに最適です。

野木町長
真瀬 宏子氏



野木町は、2015(平成27)年の関東東北豪雨災害を教訓に、町の中心部からの排水を担う逆川排水機場の雨水排水エンジンポンプ改修、機械設備等修繕工事を推進しています。さらに、災害時の的確かつ迅速な情報伝達手段として、町内各所の「防災無線整備事業」や、災害発生時の際のマニュアルとなる「野木町防災計画」の見直しなども同時に推進しています。

1月には全町避難訓練を実施しましたが、今後も定期的に訓練を重ねて、初動の動きがより迅速化されればと思っております。

災害に的確な対応を

災害に強い町を実現するために、的確な町づくりを町民の皆さまと構築していきたいと思えます。

また、野木町煉瓦窯などの観光資源を有効活用しながら、栃木県のデスティネーションキャンペーンや、2020年の東京五輪・パラリンピックに向けた観光客の誘客にも力を注ぎ、栃木県の南の玄関口として、野木町はもとより県全体の情報発信も積極的に行ってまいります。